D9

スーパーオーディオCD プレーヤー

PD-D9MK2

はじめに
接続
各部のなまえ
再生する
いろいろな機能を使う
設定をする
その他

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→あおむけや横倒し、逆さまにする。
→押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→じゅうたんやふとんの上に置く。
→テーブルクロスなどをかける。

- **着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：** 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災·感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。（取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。）

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器をのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは 2 人以上で行ってください。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

- お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 旅行などで長期間ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラス (＋) マイナス (ー) の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

- 5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本機の使用環境温度範囲は5 ℃～35 ℃、使用環境湿度は85 %以下(通風孔が妨げられていないこと)です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_Ja

目次

01 はじめに

02 接続

03 各部のなまえ

04 再生する

05 いろいろな機能を使う

06 設定をする

07 その他

第 1 章

はじめに

特長

- **クイックレスポンス電源回路**
  本機は低損失でハイレスポンスな電源回路と低 ESR（等価直流抵抗）コンデンサーを使うことによって、プロ用オーディオ機器のエッセンスを取り込んだ、原音に忠実なサウンドを実現します。
- **ハイ・アキュラシー・マスタークロック採用**
  更なる正確なデジタル伝送を追求し、高い精度を要求される業務用通信機器で使われている水晶発振器をサーボブロックとオーディオブロックにそれぞれ採用しました。
- **サンプリングレートコンバーター搭載**
  CD 再生時、176.4 KHz にアップサンプリングすると同時にオーディオ専用マスタークロックによりジッターを低減することで高音質再生を実現しています。
- **レガートリンクコンバージョン PRO で「自然な音」を再現**
  CD の再生周波数帯域を約 4 倍引き上げて再生することで、一般的なデジタルフィルターに比べ、滑らかで位相の変化が少ない自然な音の再現を実現します。
- **ツイン D/A コンバーター搭載**
  ツイン Wolfson D/A コンバーター（192 kHz/24 bit）をパラレル接続で使用し、S/N 比、リニアリティ、ダイナミックレンジ、歪率などのオーディオ性能が向上しました。これにより、微小な音楽信号までも再生でき、より開放的な音楽を再現します。
- **ピュアオーディオモード搭載**
  ディスプレイとデジタル出力をオフにすることにより、アナログオーディオ信号を最高の状態で再生します。
- **世界最高峰のスタジオエンジニアとの共同音質チューニングの実施（協力：エアースタジオ）**

再生できるディスクの種類

下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

* "Super Audio CD" は登録商標です。

- **コピーコントロール CD について**
  当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- **DualDisc の再生について**
  「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
  DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
  なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。
- **本機で再生できないディスクの種類**
  DVD、CD-G、ビデオ CD

本文中の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

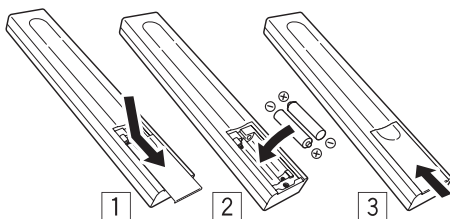
市販の SACD
(スーパーオーディオ CD)

市販の音楽用 CD、または
CDDA フォーマットで音楽が
記録された CD-R/RW

WMA または MP3 ファイルが
記録された CD-R/RW/ROM

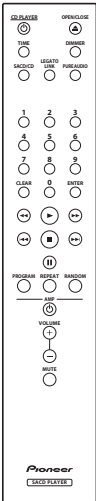
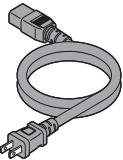
付属品の確認

リモコン× 1	オーディオコード× 1
	SR ケーブル× 1
	電源コード× 1
単 4 形乾電池 (IEC R03) × 2	保証書 取扱説明書 (本書)

リモコンに電池を入れる

メモ

・ リモコンの操作範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

⚠ 警告

電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

⚠ 注意

電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂する危険性があります。以下の点について特にご注意ください。

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池のプラスとマイナスの向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1 カ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

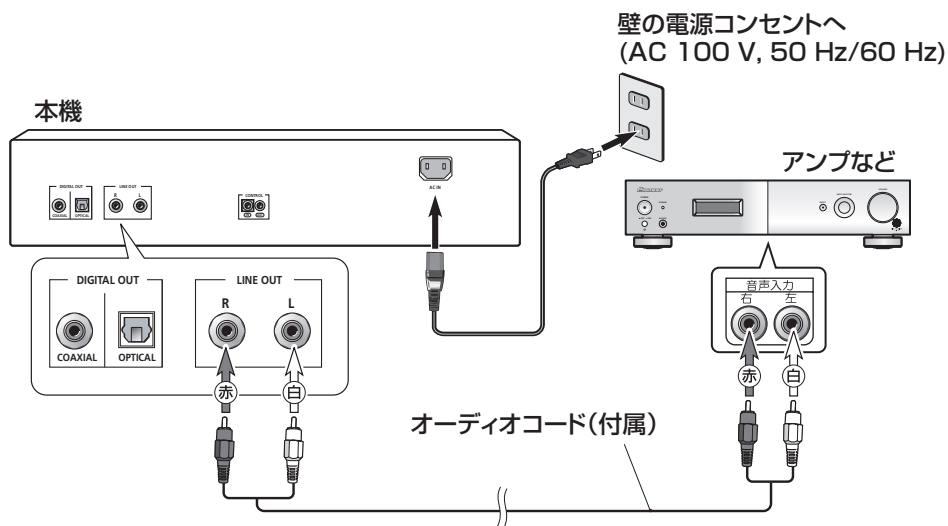
第 2 章

接続

重要

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

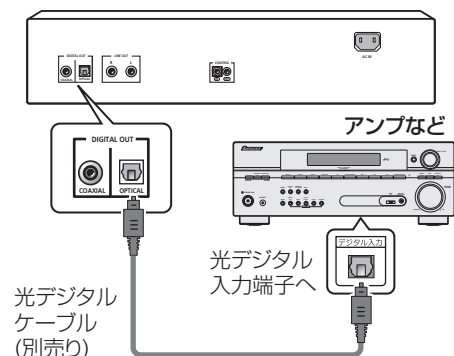
2 ch アナログ音声入力端子と接続する

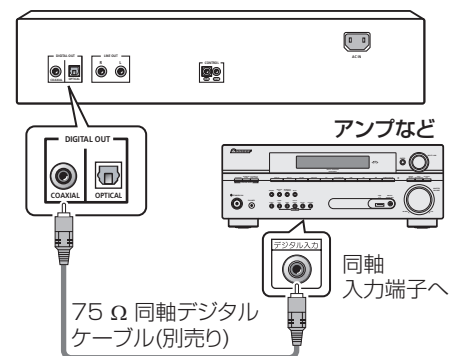
付属のオーディオコードで接続します。

デジタル音声入力端子のある機器との接続

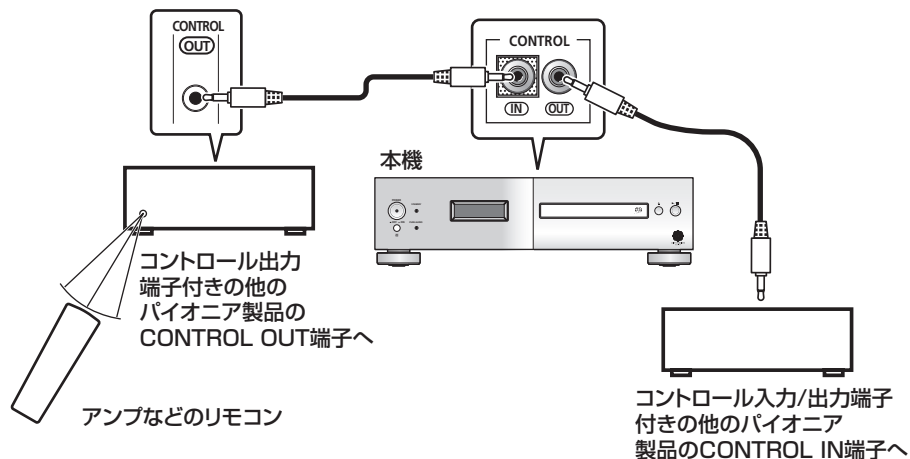
デジタル音声入力端子のあるアンプやデジタル録音対応機器 (MD、CD-R(CD レコーダー)、DAT など) とデジタル接続することができます。光デジタル端子と同軸デジタル端子に接続する 2 つの方法があります。

- 本機の光端子はシャッター式です。光出力端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

光デジタル音声入力端子のある機器と接続する

別売りの光デジタルケーブルで接続します。

同軸デジタル音声入力端子のある機器と接続する

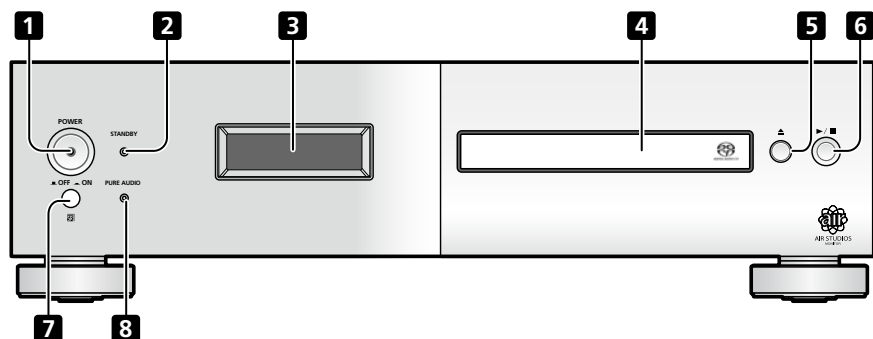
別売りの同軸デジタルケーブルで接続します。

コントロール端子の付いたパイオニア製アンプなどと接続する

アンプなどのリモコンで本機を操作することができます。付属の SR ケーブルで本機のコントロール入力端子と AV アンプなどのコントロール出力端子を接続します。

メモ

- システムコントロール接続するときは、付属の SR ケーブル以外にアナログ音声ケーブルを必ず接続してください。
- システムコントロール接続したときは、接続した機器 (アンプなど) にリモコンを向けて操作してください。本機にリモコンを向けて操作することはできません。
- コントロール端子のない機器やパイオニア以外の製品とシステムコントロール接続することはできません。

第３章

各部のなまえ

本体前面

1　POWER(■OFF ▁ON)
主電源を入れる / 切る (P.13, 14)。
電源を入れるとインジケーターが点灯する。

2　STANDBY インジケーター
スタンバイ（待機状態）中に点灯する。

3　表示窓（P.11）

4　ディスクテーブル（P.13）

5　⏏
ディスクテーブルを開閉する (P.13)。

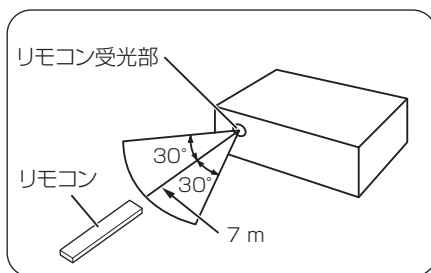
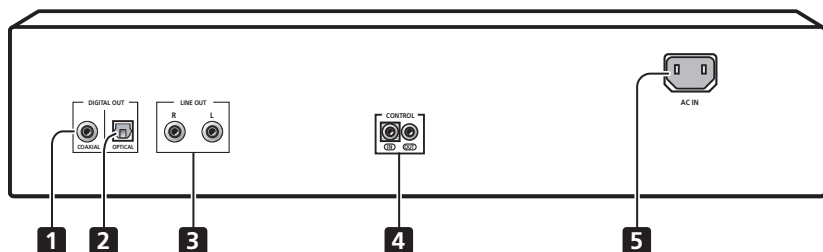
6　►/■
ディスクを再生、または停止する (P.13)。

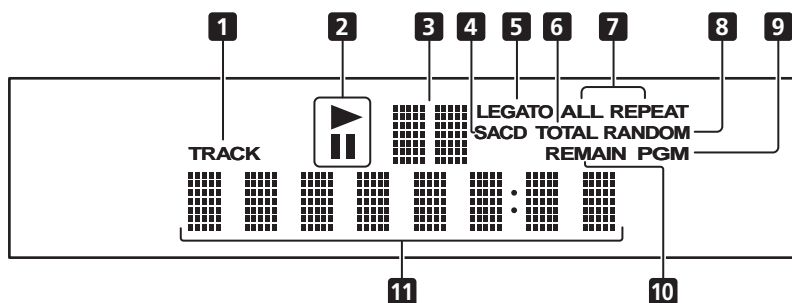
7　リモコン受光部（P.10）
約 7 m 以内の距離から、ここにリモコンを向けて操作する。

8　PURE AUDIO インジケーター
PURE AUDIO モードをオンに設定しているときに点灯する (P.18)。

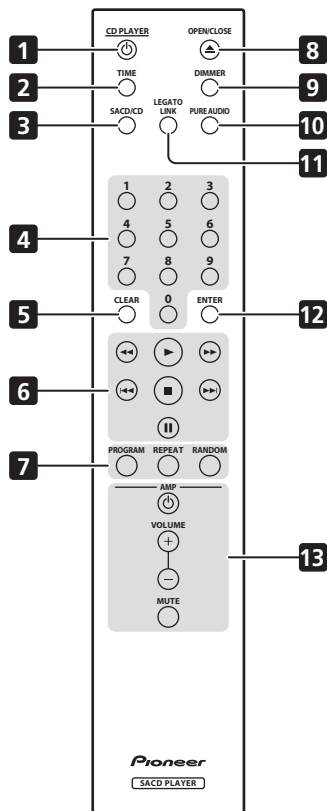
リモコンの操作範囲

本機をリモコンで操作するときは、リモコンをフロントパネルのリモコン信号受光部に向けてください。

- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。
逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させせることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。

本体後面

1 同軸デジタル音声出力端子（P.9）
2 光デジタル音声出力端子（P.9）
3 音声出力端子（P.8）
4 コントロール入出力端子（P.9）
5 AC IN 端子
必ず一番最後に接続してください。

表示窓

1 トラック番号が表示されているときに点灯
2 ディスクを一時停止または再生しているときに点灯
3 早送り / 早戻しの速さを 4 段階 (1 ～ 4) で表示する
4 SACD を再生しているときに点灯
5 レガートリンクを ON に設定しているときに点灯
6 ディスクの総再生時間が表示されているときに点灯
7 ディスクリピート再生中に点灯
(ALL REPEAT)
トラックリピート再生中に点灯
(REPEAT)
8 ランダム再生中に点灯
9 プログラム再生中に点灯
10 トラックの残り再生時間が表示されているときに点灯
11 いろいろな情報を表示する

液晶表示素子 (LCD) について
本機で使用している液晶表示素子は、温度により変化する性質を持っています。室温が低い場合はコントラストが薄くなるなど、一部見づらくなりますが、常温になれば元に戻りますので安心してご使用下さい。

リモコン

1 **CD PLAYER ⏻**
電源を入れる / スタンバイ（待機状態）にする（P.13, 14）。

2 **TIME**
ディスクの経過時間や残量などを表示する（P.19）。

3 **SACD/CD**
ハイブリッドディスクの再生エリアを切り換える（P.18）。

4 **数字**
聞きたいトラックを指定して再生したいときに使う。**数字**ボタンで選択して ENTER **ボタン**を押す（P.15）。

5 **CLEAR(クリア)**
プログラム再生で設定した内容を取り消す（P.17）。

6 **再生操作ボタン**
▶
ディスクを再生する（P.13）。
◀◀
再生中、音声の早戻しをする（P.15）。
|◀◀
現在再生中のトラックの始めに戻る（P.17）。
❚❚
音声を再生中に押すと、音声が一時停止する。もう一度押すと通常の再生に戻る（P.15）。
▶▶
再生中、音声の早送りをする（P.15）。
▶▶|
次のトラックの始めに送る（P.15）。
■
ディスクを停止する（P.13）。

7 **再生コントロールボタン**
PROGRAM(プログラム)
好みの曲順に再生する（P.17）。
REPEAT（リピート）
曲を繰り返し再生する（P.16）。
RANDOM(ランダム)
曲を順不同に再生する（P.16）。

8 **▲ OPEN/CLOSE**
ディスクテーブルを開閉する（P.13）。

9 **DIMMER(ディマー)**
表示窓の明るさを変える（P.18）。

10 **PURE AUDIO(ピュアオーディオ)**
PURE AUDIO 機能をオン / オフにする（P.18）。

11 **LEGATO LINK(レガートリンク)**
LEGATO LINK 機能をオン / オフにする（P.18）。

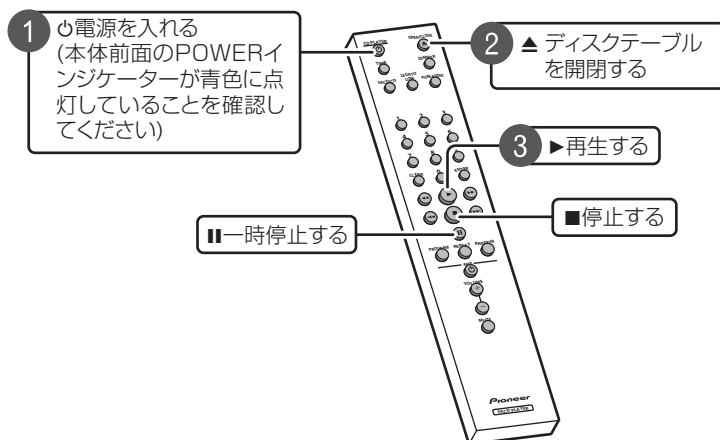
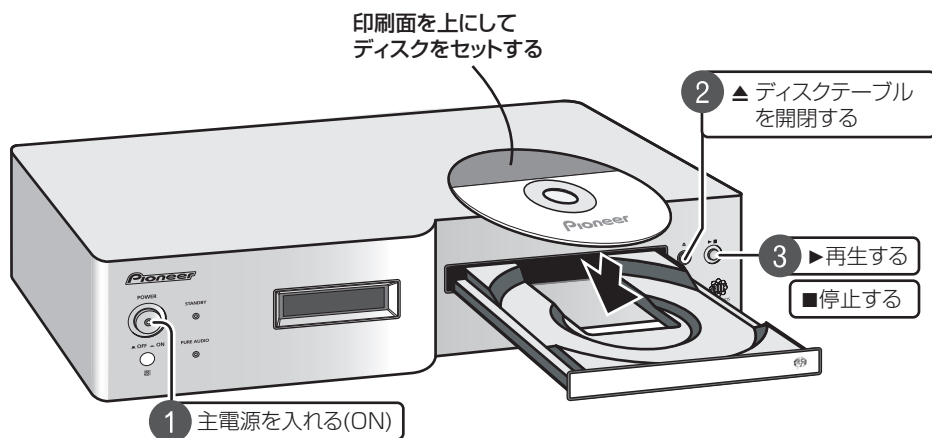
12 **ENTER(決定)**
設定 / 選択した項目を実行する。

13 **アンプ操作ボタン**
パイオニア製アンプを操作することができます。
AMP ⏻
アンプの電源を入れる / スタンバイ（待機状態）にする。
VOLUME
音量を調整する。
MUTE
消音する。

第４章

再生する

ディスクを再生する

手順番号に沿って操作して再生してください。

メモ

- 「▲ ディスクテーブルを開閉する」「▶ 再生する」「■ 停止する」の操作については、本体でもリモコンと同じように操作することができます。
- 本体の ▶/■ **ボタン**を押しながら ▲ **ボタン**を押すと、１曲目から順に、押した数だけトラックをスキップすることができます。
- リモコンの CD PLAYER ⏻ **ボタン**は主電源がオフのときには、操作することができません。

電源を切る（スタンバイ状態にする）

電源を切る前にディスクを取り出しましょう。

リモコンの CD PLAYER ⏻ ボタンを押す

次回電源を入れるときは、リモコンの
CD PLAYER ⏻ ボタンを押して電源を入れてください。

メモ

- 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の **[-OFF-]** 表示が消えていることを確認してください。**[-OFF-]** 表示中に抜くと本機の設定が工場出荷時の状態に戻ることがあります。
- 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、必ず主電源を切る、または電源コンセントから電源コードを抜いておいてください。ただし、1 カ月程度主電源を切ったり、電源コードを抜いた状態にしておくと、本機で設定した各種設定がリセットされますのでご注意ください。
- 本機がスタンバイ状態のときに **POWER ボタン**を押して電源をオフにした場合、再び **POWER ボタン**を押しても電源はオンになりません。リモコンの **CD PLAYER ⏻ ボタン**または本体の **POWER ボタン**以外のボタンを押して、電源をオンにしてください。
- 本機がスタンバイ状態のときに電源コードを抜いて電源をオフにした場合、再び電源コードを差しても電源はオンになりません。電源コードを差したあと、リモコンの **CD PLAYER ⏻ ボタン**または、本体の **POWER ボタン**以外のボタンを押して、電源をオンにしてください。

Q&A

Q1: リモコンで操作できない！

→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約 7 m の範囲内で操作することができます。

→ リモコンを他機器に向けて操作していませんか？本機のリモコン受光部に向けて操作してください（P.10）。

→ 本機を蛍光灯の近くに設置していませんか？蛍光灯から離れた場所に設置してください。

Q2: ディスクテーブルを閉めても出てきてしまったり、再生ができない

→ ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていますか？

→ ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください（P.22）。

→ 本機の内部が結露している可能性があります。結露を除去してください（P.22）。

Q3: CD(R/RW) が再生できない。

→ パソコンで作成された CD(R/RW) は再生できないことがあります。

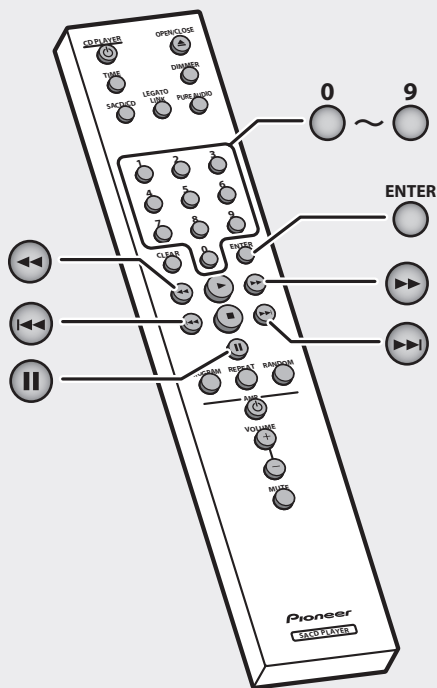
Q4: WMA/MP3 が再生できない。

→ DRM コピープロテクトのかかった WMA ファイルを再生している。

→ 記録したディスクが ISO9660 フォーマットに準拠していない。

→ サンプリング周波数が 44.1 kHz で記録されていないファイルを再生している。

→ 可変ビットレート (VBR) またはロスレスエンコーディングの WMA ファイルを再生している。

* DRM (Digital Rights Management) コピープロテクトは著作権保護のための技術で、違法な複製を防止するため録音時に使用した PC などの機器以外での再生を制限する機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

早送り / 早戻し再生

- **再生中にリモコンの ►► (または ◄◄) ボタンを押す**

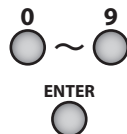
ボタンを押すたびに速さを 4 段階まで切り換えることができます。
通常の再生に戻すには ► ボタンを押します。

頭出し (スキップ)

- **再生中に ►►I (または I◄◄) ボタンを押す**

押した数だけトラックをスキップします。

トラックを指定して再生する（ダイレクトサーチ）

- **数字ボタンでトラック番号を入力して、ENTER ボタンを押す**

ENTER ボタンを押さなくても、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します (プログラム再生時を除く)。

第 5 章

いろいろな機能を使う

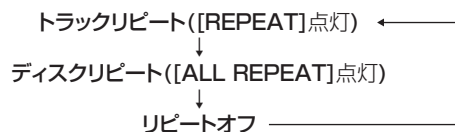
繰り返し再生する (リピート)

再生している 1 曲だけを繰り返すトラックリピートと、ディスクの全曲を繰り返すディスクリピートがあります。

REPEAT

- **再生中に REPEAT ボタンを押す**

リピート再生を開始します。押すたびにリピート再生の種類が切り換わります。

トラックリピート([REPEAT]点灯)
↓
ディスクリピート([ALL REPEAT]点灯)
↓
リピートオフ

メモ

・ ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。

順不同に再生する (ランダム)

すべての曲から順不同に選んで、各曲を 1 回ずつ再生します。

- **RANDOM ボタンを押す**

ランダム再生を開始します。[RANDOM] が点灯します。すべての曲の再生を終了すると、自動的に停止します。

メモ

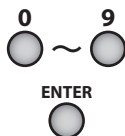
・ ディスクを停止するか、**RANDOM ボタン**をもう一度押すまで、ランダム再生を続けます。
・ ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。
・ ランダム再生中に **►►I ボタン**を押すと、順不同に次のトラックを選択して再生します。また、**I◄◄ ボタン**を押すと、現在再生中のトラックの始めに戻り再生します。

好みの順に再生する (プログラム)

聞きたい曲を最大 24 曲まで、好きな順番に登録することができます。

1　**停止中に PROGRAM ボタンを押す**

[PGM] が点灯します。

2　**聞きたい曲の番号の数字ボタンを押して、ENTER ボタンを押す**

15 曲目を選ぶときは、数字ボタンの 1 と 5 を押してから、**ENTER ボタン**を押します。入力を間違えたときは、**CLEAR ボタン**を押します。

3　**手順 2 を繰り返して、聞きたい曲の曲番号を登録する**

4　**► ボタンを押す**

プログラムした順に再生を開始します。プログラムを追加したいときは、再度手順 1 〜 2 を行います。

メモ

- 停止中に **CLEAR ボタン**を押すと、プログラムされている内容をすべて消去します。
- 停止中に **PROGRAM ボタン**を押してから **CLEAR ボタン**を押すと、最後に登録した曲から順番に削除します。
- 一時停止をプログラムすることはできません。
- プログラム再生をディスクリピートする（全曲繰り返す）ことができます。プログラム再生中に **REPEAT ボタン**を押します (P.16)。
- プログラム再生をトラックリピートする（1 曲繰り返す）ことはできません。
- プログラム再生をランダム (順不同に) 再生することはできません。
- プログラム再生中に **►►I ボタン**を押すと、次のプログラムのトラックを再生します。
- もう一度プログラム再生するときは、停止中に **PROGRAM ボタン**を押してから ► ボタンを押します。

ディスクの情報を見る

- **再生中に TIME ボタンを押す**

ディスクの経過時間や残量などを表示します。ディスクによっては、**TIME ボタン**を押すたびに表示内容が切り換わります。

メモ

- はファイル名（先頭 8 文字）を表示します。ディスクのファイル名で使用する文字によっては正しく表示されない場合があります。

設定をする

アナログ音声を高音質で再生する

デジタル音声出力を遮断し、アナログ音声を高品位で再生します。オンに設定していると表示部は消灯します。お買い上げ時は、**オフ**に設定されています。

• PURE AUDIO ボタンを押す

押すたびにオンとオフが切り換わります。オンにすると、本体の PURE AUDIO インジケーターが点灯します。

メモ

・ 表示部は文字も完全に表示されなくなります。

CD の音声を広がりのある音場で再生する

CD で通常カットされてしまう 20 kHz 以上の成分を、収録データをもとに補うことにより、自然で心地よいサウンドを再現します。お買い上げ時は、**オン**に設定されています。

• LEGATO LINK ボタンを押す

押すたびにオンとオフが切り換わります。オンにすると、本体表示窓の [LEGATO] が点灯します。

SACD/CD の再生エリアを切り換える

ハイブリッド SACD は SACD 層と CD 層の 2 層構造になっています。SACD/CD で聞きたいエリアを選択します。

• 停止中に SACD/CD ボタンを押す

押すたびに CD エリアと SACD2 チャンネルエリアが切り換わります。

メモ

・ 本機は SACD マルチチャンネルエリアには対応していません。

表示全体の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて表示の明るさを、明るい設定、暗い設定とバックライトオフの 3 段階に切り換えることができます。ディマー機能といいます。お買い上げ時は、**明るい設定**になっています。

• DIMMER ボタンを押す

押すたびに明るさが 3 段階で切り換わります。

メモ

・ バックライトオフに設定しても表示部は動作しているので、文字は薄く表示されます。

第 7 章

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。商品のお取り扱いについてのご不明な点は、お買い求めの販売店様、または裏表紙に記載されているカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AV アンプ、またはスピーカーなどもあわせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
設定した内容が消えてしまった。	• 本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、リモコンの **CD PLAYER ⏻ ボタン**を押して、表示窓の **[-OFF-]** 表示が消えてから抜いてください。特に他機器の AC アウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをお勧めします。	
音が歪んでしまう。	• オーディオコードのプラグが十分差し込まれていますか？	8
	• 接続しているオーディオコードが断線していませんか？	
	• オーディオコードのプラグや本機の音声出力端子、または接続したアンプなどの音声入力端子が汚れていたら、汚れを拭き取ってください。	
	• ディスクが汚れていませんか？	22
	• 一時停止をしていませんか？	13
	• 接続したアンプなどの音量が最小になっていませんか？アンプに接続したときは入力切換、およびスピーカーの設定を確認してください。	
	• アンプの PHONO 端子には接続しないでください。	
SACD と CD で音量差を感じる。	• ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	
デジタル音声が出力できない。	• PURE AUDIO 機能がオンになっていませんか？オフに設定してください。	18
	• SACD ではデジタル音声を出力できません。アナログ音声出力端子の接続をしてください。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、修理受付センターまたはお買い求めの販売店様にご相談ください。

再生できるディスクについて

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽 CD フォーマット、または WMA や MP3 の音楽データが記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起こることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RW ディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。

※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

WMA の再生について

- WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

Windows Media、Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA ファイルは、Windows Media Player Ver.7 以降、Windows Media Player for Windows XP、または Windows Media 9 Series 以降のバージョンを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- サンプリング周波数 44.1 kHz で記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは再生することができません。
- 可変ビットレート (VBR: Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング (loss-less encoding) には対応していません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついた WMA ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション (P.23) には対応していません。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、フォルダーとトラックの数は合計で 648 (うちフォルダー数は最大 299) まで認識･再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックを認識・再生できない場合があります。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

MP3 の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 44.1 kHz で記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは再生することができません。
- 可変ビットレート (VBR: Variable Bit Rate) には対応していません (再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついた MP3 ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション (P.23) には対応していません。

- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、フォルダーとトラックの数は合計で648 (うちフォルダー数は最大 299) まで認識･再生することができます。ただし､フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックを認識・再生できない場合があります。
- 音質的には、記録ビットレート 128 kbps 以上を推奨します。

注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したCD-R/CD-RW ディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。

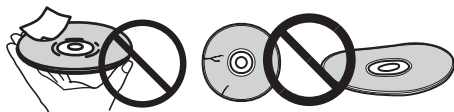
ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク (ひびや反りのあるディスク) は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やラベル用シールなどを貼り付けないでください。ディスクが反って、不具合が発生する恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

- 本機では、丸いディスクのみ再生できます。特殊な形のディスク (ハート型や六角形など) は故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

- レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、『**保証とアフターサービス**』(P.25) をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの結露について

- 冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります (結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

用語解説

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル (dB) 単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する (オーディオ DRC) と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です (アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります)。

マルチセッション
CD-R や CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

DRM コピープロテクト
DRM (Digital Rights Management) コピープロテクトは著作権保護のための技術で、無許可の複製を防止するため録音時に使用した PC などの機器以外での再生を制限するなどの機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

MP3
MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー 3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルを MP3 ファイルと呼びます。拡張子とは、OS やアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと 3 文字のアルファベットで構成されています。

SACD
CD の規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACD には 1 層ディスク、2 層ディスクとハイブリッドディスクの 3 種類があります。ハイブリッドディスクは、SACD と CD の両方の構造を持ちあわせています。

PCM
Pulse Code Modulation の略で、圧縮していない 2 チャンネルステレオデジタル音声です。CD のデジタル音声はほとんどこの方式です。

WMA
「Windows Media® Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA ファイルは、Windows Media Player Ver.7 以降、Windows Media Player for Windows XP、または Windows Media 9 Series 以降のバージョンを使用してエンコードすることができます。
Windows Media、Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

使用上のご注意

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの、安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリやタバコの煙の多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

- 本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらにリモコンの CD PLAYER ⏻ **ボタン**を押し、表示窓の [-OFF-] 表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンの **⏏ OPEN/CLOSE ボタン**を押してディスクテーブルを開けないでください。ディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

- 冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部 (動作部やレンズ) に水滴が付きます (結露)。
  結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 ～ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
  夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

仕様

形式 .... スーパーオーディオ CD プレーヤー
電源 .... AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 .... 19 W
....0.4 W（待機時）
本体質量 ....11.0 kg
外形寸法（幅）×（高さ）×（奥行）
......................420 mm × 113 mm × 340 mm
許容動作温度 .... ＋ 5 ℃～＋ 35 ℃
許容動作湿度
............................5 %～ 85 %（結露のないこと）

音声出力 (2ch)

音声出力レベル
........................200 mVrms（1 kHz、－ 20 dB）
出力端子 .... RCA 端子ステレオ 2 系統
周波数特性
CD ....4 Hz ～ 20 kHz
SACD ....4 Hz ～ 50 kHz
S/N 比
CD .... 115 dB
SACD .... 110 dB
ダイナミックレンジ
CD .... 100 dB
SACD .... 110 dB
全高調波歪率
CD ....0.002 %
SACD ....0.003 %
ワウ・フラッター.............................. 測定限界以下
（± 0.001 % W.PEAK）

デジタル音声出力

光デジタル出力............................... 光デジタル端子
同軸デジタル出力....................................RCA 端子

付属品

リモコン 1
オーディオコード... 1
SR ケーブル 1
電源コード 1
単 4 形乾電池（IEC R03）.................................. 2
保証書 1
取扱説明書（本書）

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

P.19 に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」（裏表紙）をご覧になり、修理受付センターにご相談ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名　スーパーオーディオ CD プレーヤー
- 型番　PD-D9MK2
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)

保証期間中は

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

修理のご相談 / 修理についてのお問い合わせ窓口

パイオニア製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理についてはお買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合は、窓口 (裏表紙) へご相談くださるようお願いいたします。

●北海道地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

☆北海道サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

☆東北サービスセンター	FAX　022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX　024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX　019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内

受付　月〜土　9:30〜18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

世田谷サービスステーション	FAX　03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX　03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F

●関東・甲信越地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

☆東関東サービスセンター	FAX　043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
松戸サービス認定店	FAX　047-340-5052	〒270-0021	松戸市小金原4-9-23
水戸サービス認定店	FAX　029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX　0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆北関東サービスセンター	FAX　048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX　049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX　028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-21
群馬サービス認定店	FAX　0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX　025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX　0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX　045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜サービス認定店	FAX　045-348-8661	〒240-0043	横浜市保土ヶ谷区坂本町250
神奈川西サービス認定店	FAX　046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX　04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX　0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX　026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX　055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

☆中部サービスセンター	FAX　052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX　0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX　059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX　058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX　054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX　055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX　076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区		受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）	
☆関西サービスセンター	FAX　06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪南サービス認定店	FAX　0722-75-2625	〒593-8322	堺市西区津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX　078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX　0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX　0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX　075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX　0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX　0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区		受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）	
☆中四国サービスセンター	FAX　082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX　086-244-8748	〒700-0975	岡山市北区今8-15-21
松江サービス認定店	FAX　0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX　0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX　0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX　0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX　087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX　088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX　088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1Ｆ
松山サービス認定店	FAX　089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区		受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）	
☆九州サービスセンター	FAX　092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX　093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX　092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX　0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX　095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX　096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX　097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX　0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX　099-201-3803	〒890-0046	鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1Ｆ

●沖縄県		受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）	
沖縄サービスステーション	TEL　098-879-1910 FAX　098-879-1352	〒901-2113	浦添市大平2-2-6　ひろえハイツ102

平成21年4月現在　　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。		ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026_A_Ja

その他

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　フリーコール 0120−944−222　一般電話　03−5496−2986
■ファックス　03−3490−5718
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120−5−81028（ゴーハ゜イオニア）　一般電話　03−5496−2023
■ファックス　フリーコール 0120−5−81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−879−1910
■ファックス　098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～18:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーダイヤル 0120−5−81095　一般電話　0538−43−1161
■ファックス　フリーダイヤル 0120−5−81096

平成21年4月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.031

パイオニア株式会社　〒153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<PRA1119-A>